

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所  
第 20 回理事会 議事録（概要版）

日 時：平成 28 年 3 月 29 日（火）13：30～16：00

場 所：大阪府立産業技術総合研究所 5F 特別会議室  
和泉市あゆみ野 2 丁目 7 番 1 号

出席者：古寺理事長、沢村副理事長、赤井理事（技術担当）、植村監事、小島監事  
藤田経営企画室長、山口顧客サービス室長、米田マネージャー兼総務課長、  
浅尾経営戦略課長、  
（事務局）経営戦略課職員、総務課職員

**議 事**：

1. 開会

理事長あいさつ

2. 審議事項

(1) 平成 28 年度計画（案）について

平成 28 年度計画（案）について審議され、原案のとおり承認された。

(2) 平成 28 年度予算（案）について

平成 28 年度予算（案）について審議され、原案のとおり承認された。

(3) 平成 28 年度機器整備計画（案）について

平成 28 年度機器整備計画（案）について審議され、原案のとおり承認された。

(4) 平成 28 年度の組織改編について

平成 28 年度組織改編の概要について審議され、原案のとおり承認された。

（主な意見）

- ・セキュリティ対策として、所内のシステムをしっかりと管理する必要がある。企業のシステムの技術支援がもう一步進展するのであれば、それを計画に明記してはどうか。

- ・5軸のマシニングセンタを企業が使えるように、機械の使い勝手をフィードバックすることも目標としてほしい。
- ・機器導入の際のマーケティングシートについて、引き続き改訂の試行錯誤は続けてほしい。

### 3. 報告事項

以下の10点について報告し、了承された。

- (1) 市工研との統合に向けた動きについて
- (2) 北側用地の府への返納について
- (3) 平成27年度の決算見込みについて
- (4) 皮革試験所土壌汚染調査結果について
- (5) 数値目標達成状況について
- (6) 「ご利用に関するアンケート調査」実施概要について
- (7) プロジェクト研究について
- (8) 給与改定等の概要について
- (9) 監査結果の概要について
- (10) 自治体との包括連携協定の更新について

(主な意見)

- ・産技研のあり方として、試験内容に応じた適切な料金設定を行うとともに、民間の事業とうまく棲み分けを行う必要がある。

#### 【監事退任あいさつ】

小島監事：4年間、府市統合の議論がなければ、本来の技術的なこと、府内の企業へのあるべきサービスについてもっと議論できた気がする。大阪産業が低迷している中で、早く統合問題が片付いて、本来の技術支援で、地元の企業の力強い応援に専心してほしい。

植村監事：私は、より府民、企業の直のニーズに応えられるよう、絶えず変わっていく努力をする組織になってほしいという考えで取り組んできた。そういう視点でこの4年間、企業からの受注も増え、組織もそれに応じて変えていく努力を目の当たりにした。今後も、形を絶えず変えていける組織であってほしいというのが私の希望。また何かあれば、その折にはぜひ協力したい。